

高校3年 高3カップ☆ドリームマッチ(球技大会)が行われました

11月7日(金)の6時間目の体育の時間に、高3生徒のチームと教員のチームが球技で対戦する高3カップ☆ドリームマッチが行われました。今回の種目は、卓球・フットサル(ミニサッカー)・バスケットボールでした。参加した生徒のチームは、一学期から体育の時間に行われてきたリーグ戦で優勝・準優勝となった強豪チームです。一方、教員チームは、高3学年団・体育科の教員に加えて、スペシャルゲストとして、田中均副校長先生と保健の浅野陽子先生をお迎えして結成されました。

最初の種目は卓球でした。その試合前の練習時間にいきなり生徒たちの大きな歓声が上がりました。その視線の先では、副校長先生と浅野先生が、熟練の技を発揮され、延々とラリーを続けていました。その後の試合では、お二方の活躍もあり、結果は、教員チームの勝利でした。続いてフットサルが行われました。生徒も教員も必死にボールを追い、予想以上に白熱した真剣勝負となりました。試合は一進一退の攻防となり、選手がボールを蹴りながら、ゴールに近づくたびに、大歓声が上がりました。結果は両チーム無得点で引き分けとなりました。最後にバスケットボールが行われました。前半は生徒チームが優勢で、次々と得点を重ねました。教員の方は、なかなかゴールが決まらず、劣勢に立たされました。しかし、後半になると一転して教員チームが巻き返し、最終的には引き分けとなりました。

生徒たちのチームはどの種目のどのチームも、チームワークが良く、高い闘争心をもって、大活躍をしました。教員もそのような生徒たちとともに、疲れを忘れて体を動かし(試合後は、しっかり体が疲れを思い出しましたが)、楽しく充実した時間を過ごすことができました。また、今回の大会の運営にあたり、体育委員の皆さんが準備や審判などの裏方として大変献身的に働いてくれました。

最後に、各種目で優勝した生徒チームの表彰が行われました。そして、特別賞として、特に活躍が目立ったクラスに澤村賞(体育科主任よりの賞)が贈られることになりましたが、見事その賞に輝いたのはF組でした。こうして、心配された負傷者を出すこともなく無事に大会を終えました(教員もみな無事でした)。金曜日6時間目の体育は、これを持って終了となりますが、良い締めくくりとなったドリームマッチでした。この後もこの活躍を励みにして、あと数か月後に迫った目標に向かって前進してほしいと思います。

